

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 ショパニストA部門

●審査員 A

ショパンの音楽に対する大きな愛情が演奏を聞いてよく伝わってきました。更に良い演奏をするための要素として、楽譜への忠実さ、リズムの正確さ、明確なペダリング、自然な語り口などが挙げられます。

強弱やテンポ記号、フレージングのスラー、アーティキュレーションや表現内容に関することなど詳しく記載されているので、注意深く楽譜を勉強することをお勧めします。これらの要素が誇張されることなく調和することで、正しい音楽の形が構築できるのです。

●審査員 B

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会へ進出された皆さん、おめでとうございます。ショパン愛好家の皆さんが、ショパンの音楽を愛する気持ちを観客と分かち合おうとしているのを見るのは、とてもうれしいことです。また、演奏に向かう姿勢も好感が持てました。音響や使用するピアノが異なるため、演奏の比較に苦労しましたが、演奏者から提供されるものと、録音条件に属するものを分けて考えるようにしました。プロフェッショナルな録音環境を設定しようとした皆さまの努力に感謝いたします。

今後のアドバイスとして、技術的な側面から作品を見るだけでなく、全般的な音楽言語をより深く理解することに努めてみてください。和声、形式、ポリフォニックな構造を分析し、作品について調べることが、説得力のある解釈を生み出すことに繋がります。

これからも、沢山の喜びと充実感を感じピアノを弾いてください。そして、次回のショパン国際ピアノコンクール in ASIA でも、ぜひ演奏を聴かせてください。

●審査員 C

本当におめでとうございます。皆さんの演奏から、ショパンの音楽に対する真の愛と献身的に取り組まれている姿勢が伝わり、大変嬉しく思いました。皆さんの情熱と、入念に準備するプロフェッショナルな姿勢に感心しています。その姿勢と演奏は、世界中の優秀なピアノ学習者の良いお手本になるでしょう。音楽に触れ、ピアノを弾き、素敵な時間をたくさん作ってください。

●審査員 D

充実した内容の演奏が非常に多かったという印象を持ちました。ショパン自身の演奏は、毎回演奏表現方法が異なっていたということが伝えられています。表現の可能性は無限ですので、皆様も今回の演奏経験を踏まえて、また新たな表現、そして「演奏の喜び」をショパンの演奏を通じて見つけてください。

●審査員 E

ショパニストA部門、S部門 どちらも素晴らしい演奏ばかりでした。ご自分の演奏に自信を持ち、楽しんでお弾きになっていらっしやるのが印象的でした。

●審査員 F

お一人お一人誠実に丁寧に、楽譜、ピアノに向かっていらっしゃる、これからの音楽界を支えて下さる方々でいらっしゃると未来に期待しながら聴かせて頂きました。ショパンにとって、ピアノはオールマイティな楽器であり、木管楽器や人の声さえピアノで表現することが可能であったはずです。どうか様々な音色と歌心を求めつづけて下さい。ありがとうございました。